

令和4年度 えりも高校 第1回授業評価アンケート結果分析

アンケート実施期間：6月6日～6月17日

質問項目（各教科・科目共通）

先生に関する項目	①	授業の目標・課題設定がわかりやすい。
	②	板書やプリント・PCの文字、先生の説明・指示や声量・話す速度などがわかりやすく、整理されている。
	③	授業の内容や難易度は自分に合っている。
	④	ペアワークやグループワークなど対話的活動により、自分で考えたり発表したりできるような授業である。
	⑤	どのように評価されるか説明している。
	⑥	内容や疑問点について振り返る時間があり、伝えやすい。
生徒自身に関する項目	⑦	話を聞く姿勢を取るなど、ふさわしい態度で学習している。
	⑧	授業に積極的・主体的に参加している。
	⑨	分かりやすく発表したりまとめたりすることができている。
	⑩	この授業を通して、その科目に関する考え方が深まった。
	⑪	この授業を通して、知識や技能の向上を実感している。

○生徒の評価

4～1の段階で評価する。

4	そう思う。
3	どちらかというと思う。
2	どちらかというと思わない。
1	思わない。

○評価の段階

生徒の評価の平均を以下の評価とする。

3.45以上	A評価
2.90以上	B評価
2.35以上	C評価
2.35未満	D評価

教科（国語科）	
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）	単元の計画を生徒に提示し、見通しを持たせていることが結果に繋がっている。また、プリントの字体や図表し、口頭だけの説明だけで終わらない視覚的な説明などのユニバーサルデザインの視点での授業づくりは今後も続けていきたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）	自分の考えを言語化する能力がなかなか身に付かない者が多い。→小集団や個人でアウトプットする時間を作る。 自己評価の低い生徒が多いように見受けられる。→ルーブリックの提示でメタ認知をさせる。ポジティブな声掛けを行う。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動	ICTの音声入力機能を有効活用したい。

教科（地歴公民科）	
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）	課題の設定など、学習への見通しを持たせることができたことが評価の高い項目であったと感じる。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）	各学年、授業の難易度について、低く表れている様子である。生徒に「何が身についたのか」を実感させるまとめや振り返りを各単元で1回以上行いたい。難易度が高いと感じる生徒への個別の対応の研究が必要と感じる。 グループワークなどの機会の設定に課題を感じた。目標に正対した適切な学習活動の設定について考えていきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動	基礎基本の徹底を図り、生徒が「できる」といった実感を与えたい。

教科（数学科）	
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）	今年度から評価の方法が変わる1年生は、評価について触れる機会が多く、「どのように評価されているか説明している。」の項目が特に高かった。それに伴って、他の学年においても評価について触れる機会が増え、同項目が高くなったと考えられる。生徒のモチベーションの向上や自己の学習を振り返る機会につながっているため、今後も継続していきたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）	「まとめ・発表」についての生徒評価は高くない。しかし数学科として、互いに教え合う機会を積極的に設けることを優先して指導を行っているため、「授業に積極的・主体的に参加している。」の項目が低くはならなかったと考えている。知識の定着のためのアウトプットの機会としても、発表する機会を増やして実践する場を設けるよう努めていきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動	評価が高いのは良いことだが、真剣に考えずに評価している生徒も多くいると思われる。生徒に真剣に回答させるよう工夫をしていきたい。

教科（理科）	
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）	3学年は全般的に評価が高く、モチベーションもあると思われる。今後も引き続き生徒の意欲を高める授業を心掛けたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）	1学年では発表やまとめの場面が不足している。その授業で学習したことを自分でまとめられる時間を設けていく。2学年では難易度を高く感じ、授業を受けての能力の向上を実感できない生徒が見られる。実験・観察を取り入れながら、身近に捉えやすい題材を用いて授業改善を行っていく。3学年ではどの観点でも高い評価となった。引き続き、生徒が興味関心をもつ活動を取り入れながら、能力の向上を図っていく。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動	実験を行っていくことはもちろんのこと、課題に対して実験を通して試行錯誤しながら探究し、解決する活動を設ける。

教科（保健体育科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
<p>全学年、①目標、②説明内容、⑤評価については特に高い評価を得ている。日頃から学習カードを効果的に用いるようにしていること、ホワイトボード等を活用しながら目標や授業内容、まとめ等を毎時間掲示していることが、高い評価に繋がっていると考えられる。</p> <p>1年生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークやグループワークなども可能な範囲で今後も継続していきたい。 <p>2年生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己を振り返ることができるように評価の観点も適宜提示していく。 <p>3年生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的活動の中で、個々の目標をしっかりと持たせたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
<p>全学年、⑨発表については低く出ている。3学年では自分たちで活動を計画しながら進めていく学習活動が主となるため、2学年後半から、学んだ内容を相手に伝えるための活動を行っている。3学年についてはその活動を経たためか、⑨の項目について昨年度よりも数値が上がった。3年間を見通して、⑨の項目を高めていきたいと考えている。</p> <p>また、1、2学年については⑩知識や技能の向上の実感について、他の項目に比べて低い数値となっている。体づくり運動の単元が主だったため、技能の実感というよりは、心と体の気づきについて学んだため、⑩については低くなったと考えられる。今後の単元では、技能についても学んでいくため、達成感を得られるような内容にしていきたい。</p>
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動

教科（英語科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
<p>3学年は全ての項目でA評価であった。また、1学年ではほとんどの項目でA評価であった。年々、各学年の生徒数が徐々に減少していることにより、教員1名に対する生徒数が少なくなっていることから、より生徒一人一人へ、きめ細かな習熟度別授業が実施できていると感じている。より一層その効果がより表れるよう、今後も、発展クラスはより高みを目指せる指導を、そして標準・基礎クラスの生徒も「できる・わかる」を授業の中で実感できるように、基礎基本の反復学習を重点的に行い、生徒が主体的に学習できるような授業展開を心掛けたい。</p>
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
<p>2学年においては、半数以上の項目でB評価であった。1学年と比べ、学習内容が高度になっていくことから、英語が難しいと感じている生徒が増えているのではないかと推測される。また、対話的場面が少なかったことも、評価に影響していると推測される。引き続き、生徒目線に立った分かりやすい授業を心掛けるとともに、定着させた知識をアウトプットできるような活動を通して、英語で考え、表現できる生徒の育成にも努めていきたい。</p>
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動
<p>この先、授業内容が高度になっていくため、ポイントを明確にした分かりやすい授業を心掛けるとともに、3学年については入試レベルにも対応できる能力の育成にも努める。また、インプットだけにとどまらず、積極的にアウトプットできるよう、ALTの活用を交えながら、授業づくりを行っていききたい。</p>

教科（家庭科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
授業や対話的な活動については学年を通して評価が高かった。今後も継続していきたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
<p>分かりやすく発表したり、まとめたりすることができているという項目について1，2学年を通じて低い評価項目となっている。今後、1年生は住生活、2年生は保育や食生活の分野を予定しているので、発表やまとめ機会を設定し、生徒の言語活用の力の育成を図るような授業の設定を図っていきたい。</p> <p>1年生では、特に内容や疑問点について振り返る時間があり、伝えやすいという項目についてやや低い評価となっている。振り返る時間やリフレクションシート等を活用して、生徒が学んだことを実感できる活動を取り入れていきたい。</p> <p>2年生では、自己の学習について振り返る項目について低くなっている。自由記述欄には「最近難しい」といった項目も見られた。生徒の興味関心を広げ、授業内容の精選を図っていく必要があるので努めていきたい。</p>
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動
3学年の科目では外部講師に来ていただき地域と連携した授業を実施している。感染対策しながら、今後とも、実施していきたい。

教科（商業・情報科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
<ul style="list-style-type: none"> ・全学年とも全体的に評価が高かった。 ・実技科目が多く、自分の進路に直結した授業が多いと考える。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
<ul style="list-style-type: none"> ・「わかりやすく発信したりまとめたりできている」の項目は低い学年が多かった。 <p>→ 授業内での発表の機会をふやすことで改善をはかる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2学年に比べると、3年生の「その科目に関する考え方が深まった」という項目が高かった。 <p>→ 2学年のうちから商業の実務や進路について考えさせていく必要がある。</p>
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動